



第8回まちづくり協議会を開催します！

第8回まちづくり協議会では、これまでのまちづくり方針等の検討成果を踏まえ、実現化に向けた具体的な方策について検討します。

- 日時 平成30年11月14日(水) 午後2時～4時
- 会場 リオンホール (cocobunji WEST5階)
- テーマ 『推進地区内のまちづくり方針の決定』
『実現化の具体的方策の検討』

- ・予約は必要ありません。
- ・どなたでも傍聴できます。



協議会・懇談会の検討の流れ

協議会

第6回まちづくり協議会

- 日時：平成30年7月11日(水) 午後2時～4時
- 会場：リオンホール
- テーマ：国分寺街道周辺エリアのにぎわいの創出の検討



第7回まちづくり協議会

- 日時：平成30年8月28日(火) 午前10時～11時40分
- 会場：リオンホール
- テーマ：国分寺街道周辺エリアのにぎわいの創出の決定、推進地区内のまちづくり方針の調整



第8回 『推進地区内のまちづくり方針の決定』 11/14 『実現化の具体的方策の検討』

第9回 『実現化の具体的方策の決定』 『まちづくり計画(素案)の検討』

第10回 『まちづくり計画(案)の検討』

懇談会

第4回まちづくり懇談会

- 日時：平成30年6月17日(日) 午後2時～4時
- 会場：カフェといろいろびより
- 参加者：17名
- テーマ：国分寺街道沿道のにぎわいの創出



第5回 まちづくり懇談会 10/5(金) 開催

※詳しくは①ページをご覧ください。



※今後の予定は、検討状況により変更になる場合があります。

市長への報告

◎国分寺街道及び国3・4・11号線周辺まちづくりに関する情報は、市のホームページにも掲載しています。
市ホームページ、サイト内検索で 国3・4・11 と入力して検索してください。
◎また、右記のQRコードからも国分寺市のサイトにアクセスできます。



国分寺街道及び国3・4・11号線周辺まちづくり

第8号

まちづくりニュース

トピックス

- 【お知らせ】第5回懇談会を開催します……………①
- 【報告】にぎわいの創出の目標と取組と
とりまとめました……………②③
- 【お知らせ】第8回協議会を開催します……………④
- 【報告】第4回懇談会・第6・7回協議会を
開催しました……………④

- 平成30年9月
- 発行：国分寺市 まちづくり部 まちづくり推進課
- 電話番号：042-325-0111 (内線456)
- ファクス番号：042-324-0160
- E-mail: machisuishin@city.kokubunji.tokyo.jp

※まちづくりニュースは、地域の皆さんへ「まちづくり」の進捗をお知らせする広報誌です。



10/5(金)

第5回 まちづくり懇談会を開催します

国分寺街道及び国3・4・11号線周辺まちづくり協議会では、都市計画道路国3・4・11号線の整備によって変化が予想される周辺地域のまちづくりを推進するため、地域の皆さんのご意見を伺いながら、まちづくり推進地区(右図)の将来像やまちづくり方針を定めたまちづくり計画の策定に向け検討を進めています。

地域の皆さんのご意見やアイデアをまちづくりに活かすため、ワークショップ形式での懇談会を開催します。
皆さんのご参加をお待ちしています！

- 日時 10月5日(金) 午後6時30分～8時
- 会場 cocobunji プラザ セミナールーム (cocobunji WEST5階)

※申込みは不要です。直接会場までお越しください。
※どなたでも参加できます。



【まちづくり推進地区】



テーマ 国分寺街道周辺 トリップマップをつくろう

～にぎわい創出の取組

「散策コースの検討」の実践～



第7回まちづくり協議会では国分寺街道周辺のにぎわいの創出について検討しました。第5回まちづくり懇談会では、にぎわい創出の取組⑧「散策コースの検討」を実践し、地図に地域の魅力を落とし込む作業を行うことで、地域の魅力の再発見と情報を発信する手法について考えます。
にぎわい創出の取組については②③ページに詳しく掲載しています。

Pick Up! 国分寺街道周辺エリアのにぎわいの創出

第6回まちづくり協議会で国分寺街道にふさわしいにぎわい（にぎわいの定義）等について議論を行ったところ、国分寺街道のにぎわいには1. 地域住民のコミュニティを中心とした地域の豊かさによって創出されるにぎわいと2. 主に観光客や来訪者が集まることによって創出されるにぎわいの2つがあり、これらを分けて整理するのがよいのではないかとということになりました。このことから、右図のような考え方で、にぎわいを創出するための目標や取組（①～⑩）を取りまとめ、第7回協議会では、具体的な取組について検討を進めました。様々な意見が出ましたが、2つのにぎわいにおける各取組同士を掛け合わせたり、近隣市と連携を図ったりすることで更に効果的な取組が生まれるのではという意見もありました。

《にぎわいの創出の考え方》

にぎわいの定義

→【目標】 ×

(活用資源)

- A.農地・こくベジ B.武蔵国分寺跡
- C.不動橋・一里塚 D.野川・元町用水
- E.住民 F.商店会や町会 G.周辺大学の学生の活力
- H.空き店舗 I.周辺の施設

→

取組



【1. 地域住民のコミュニティを中心とした地域の豊かさによって創出されるにぎわい】

にぎわいの定義

- 魅力的な商店街があり、地域住民が日々の買い物を楽しむことができる。
- 空き店舗が少なくなり、新たな商店が増え、地域経済が活性化している。
- 商店街にはこくベジ（ブランド化した地場野菜）やこくベジを活かした商品を扱う店があり、選ぶ楽しみ、買って食べる楽しみがある。
- 地域の大学の学生が地域の活動に積極的に参加し、連携した取組が実施され、新しい価値を生み出している。
- 地域の歴史や特性を活かしたイベントの開催が行われている。
- 地域の人々が心地良く過ごせるコミュニティの場があり、コミュニティが形成されている。

【目標】 1-1 買い物を楽しむことができる商店街。

(活用資源)×A.農地・こくベジ

①こくベジプロジェクトとの連携

⇒農園を活用した体験プログラムや講座を地域の農家、店舗、行政、団体などで連携して実施したり、育てた野菜をそこで調理しその場で味わえるよう国分寺街道沿いに提携するシェアキッチン兼食堂を造ったりするなどの民間プロジェクトを支援します。

⇒国分寺街道が歩きやすい道となることから、道路空間を活かし、こくベジをはじめとした旬の食材を販売するマルシェイベントを開催し、人々のにぎわいを生みだします。

(活用資源)×G.周辺大学の学生の活力

②周辺地域の大学と連携した取組への支援

⇒周辺地域の大学生と連携し、こくベジを使った地域の名産品になるような商品の開発や、地域の学生が学びの一環としてチャレンジショップに取組むことを支援し、学生が地域へ入っていくためのきっかけづくりを進めます。

(活用資源)×H.空き店舗

③空き店舗の利活用

⇒空き店舗オーナーが事業者へ貸し出したくなるよう、オーナーが手間を掛けずに安く貸し出せるマッチングの仕組み創設の検討や、リノベーションスクールの開設等を支援します。

【目標】 1-2 地域コミュニティの形成。

(活用資源)×E.住民, F.商店会や町会

④地域の歴史や資源と関連したイベントの開催

⇒国分寺街道が歩行者主体の道路となることから、道路を使った大胆なイベントの開催を支援します。道路空間を活用したイベントを開催し、まちのキーパーソンの発掘や、地域住民への買い物以外の楽しみの提供、店主と客のコミュニケーションの機会作りを推進します。

⑤エリアマネジメントの検討

⇒公共空間の維持管理・活用を担いながら、行政や民間組織との調整を図るエリアマネジメント組織の導入を検討します。イベント等のまちのにぎわいの担い手をつなぐ組織作りを進めます。

⑥コミュニティビジネスの支援

⇒身の回りの問題を、地域住民が、人材やノウハウ、施設などの地域資源を活かし、ビジネスの手法を用いて自分たちで解決するコミュニティビジネスの支援を行います。

【2. 主に観光客や来訪者が集まることによって創出されるにぎわい】

にぎわいの定義

- 観光客のためのおもてなしの拠点が設置され、史跡を訪れる人が国分寺街道に寄って休憩、飲食、土産物の購入などをし、地域経済が活性化している。
- 何度も訪れたい魅力があり、リピーターが増える。
- 観光客は、歩き、自転車、バス等、様々な交通手段で地域を回遊する観光ルートを選択することができ何度も楽しめる。
- 国分寺街道に関する情報が多数発信されていて、受信した人が国分寺街道に興味を持ち、訪れる。

【目標】 2-1 観光客が国分寺街道に寄りたくなる魅力をつくる。

(活用資源)×C.不動橋・一里塚

⑦来訪者へのおもてなし拠点の設置

⇒不動橋付近をエリアの拠点に位置付け、観光のおもてなし拠点をつくります。



(活用資源)×A.農地・こくベジ, B.武蔵国分寺跡, D.野川・元町用水, I.周辺の施設

⑧散策コースの検討

⇒史跡等、周辺地域の観光資源や個性的な店舗等と国分寺街道を回遊する散策コースを複数用意し、観光客が目的や好みにより選択でき、何度も楽しめるようにします。

⑨シェアサイクルの検討

⇒周辺地域の観光資源を周遊する、ワンウェイ（各拠点に乗り捨て可能）なシェアサイクルの基地の設置について検討します。観光や買い物の利便性を高めるための拠点などについて研究を進めます。

【目標】 2-2 国分寺街道の魅力を知ってもらう。

(活用資源)×F.商店会や町会, G.周辺大学の学生の活力

⑩情報発信の促進

⇒地域の担い手（商店街や周辺地域の大学生）により、多様な媒体でわかりやすい情報発信を行います。複数の主体による発信を通して、まちの魅力を広く深く拡散します。

